

離婚協議書（テンプレート）【2026年法改正対応】

第1条（離婚の合意）

夫【氏名】と妻【氏名】

は、協議のうえ、本日協議離婚することに合意し、離婚届を提出する。

第2条（親権）

未成年の子【氏名】（生年月日：年月日）の親権については、以下のいずれかを選択する。

単独親権：母（または父）を親権者とする。

共同親権：父母双方を親権者とする。

第3条（監護者）

未成年の子の監護者（実際に子を養育する者）は【母（または父）】とする。

第4条（養育費）

父（または母）は、未成年の子の養育費として、毎月【円】を、【銀行名】銀行【支店名】支店 普通口座【口座番号】へ振り込む方法で支払う。

支払期限は毎月【日】とし、子が満【歳】に達する日の属する月まで支払う。

第5条（親子交流）

非監護親は、未成年の子と月【回】程度の親子交流（面会交流）を行うことができる。具体的な日時・場所は父母が誠実に協議して決定する。

第6条（財産分与）

夫婦は、婚姻期間中に形成した財産について、次のとおり分与する。

例：夫は妻に対し、財産分与として金【円】を支払う。

第7条（慰謝料）

本件離婚に関して、慰謝料の支払いについては次のとおりとする。

例：夫は妻に対し、慰謝料として金【円】を支払う。

第8条（年金分割）

夫婦は、厚生年金の標準報酬について、年金分割の按分割合を【0.5】とすることで合意する。

第9条（清算条項）

本協議書に定めるほか、夫婦間には何らの債権債務がないことを相互に確認する。

第10条（強制執行認諾）

本協議書の金銭支払い条項について、公正証書とした場合、債務者は強制執行を受けても異議がないことを認諾する。

署名欄

本協議書の成立を証するため、本書2通を作成し、夫婦双方署名押印のうえ、各自1通を保管する。

作成年月日： 年 月 日

夫 住所： 氏名： 印

妻 住所： 氏名： 印